

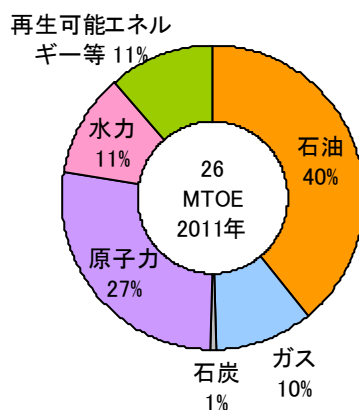
## 2-10 スイス

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 26 百万 TOE (日本の 0.06 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 3.28TOE (日本の 0.91 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 49%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 43.83 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.04 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 5.63 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.63 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : -

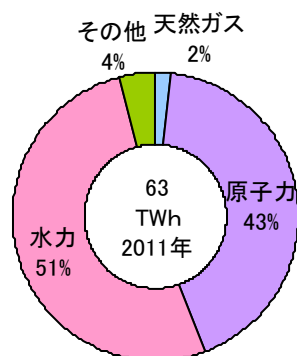
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Switzerland

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2011年)



COUNTRY: Switzerland

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 環境・運輸・エネルギー・通信省下にある連邦エネルギー局が、スイスのエネルギー政策に関する責任を負っている。

### (2) 基本政策

- スイスはエネルギー政策として、省エネルギーとエネルギーの有効利用、再生利用エネルギーの促進という2つの目標を掲げている。
- 2011年3月の福島事故を受けて、スイスは同年3月半ばに原子力発電所新規建設申請手続きの凍結を発表し、同年5月には原子力発電から段階的に撤退する政策を掲げた。

### (3) 最近の動向

- 2011年5月25日、福島事故を受けてスイス連邦政府（連邦参事会）は段階的な脱原子力を決定した。これは2019年から2034年までの間に既存5基の原子炉を廃止するというものである。スイス連邦政府は新たな「エネルギー戦略2050」を発表し、その下で省エネルギーの促進、水力・再生可能エネルギーの開発（必要に応じて、コージェネレーション発電、ガスコンバインドサイクル）を進めるとした。
- 2011年6月8日の国民議会（下院）、同年9月28日の全州議会（上院）で新規原子力発電所建設禁止の議案が可決された。これら上院、下院での可決を受けて、連邦政府は今後、原子力法の改正案を作成することになるが、法案採決の際に脱原子力の内容が弱体化する可能性も残されている。
- 2011年12月1日、長期エネルギー計画となる「エネルギー戦略2050」が正式に発表された。2012年4月18日、スイス連邦政府は、同戦略推進のための環境・運輸・エネルギー・通信省による新たなモデルを含む今後の方針を承諾し、2012年9月28日には、「エネルギー戦略2050」の第一次立法提案パッケージが公表され、意見聴取が開始された。意見聴取は2013年1月31日まで行われる。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 現在、日本とのエネルギー貿易はない。

## 2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1) 一次エネルギー供給量		26 MTOE
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		3.28 TOE/人
(3) GDP 当たりの一次エネルギー供給		0.06 TOE/千\$
(4) エネルギー自給率		49 %
(5) エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (2010 年)		43.83 百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6) 一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (2010 年)		5.63 CO <sub>2</sub> ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	1 %
	石油	39 %
	ガス	10 %
	原子力	27 %
	水力, 再生可能エネルギー等	22 %
(8) エネルギーの輸入依存度		51 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度 (2009 年)		0.0 %
(11) 原油輸入先 (2010 年)	第 1 位	ヨーロッパ諸国
	第 2 位	カザフスタン
	第 3 位	リビア

(出所) (1)～(4)及び(7)～(9) : IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

(5)～(6)は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion, 2012.

(10)～(11)は IEA, Oil information, 2012.